

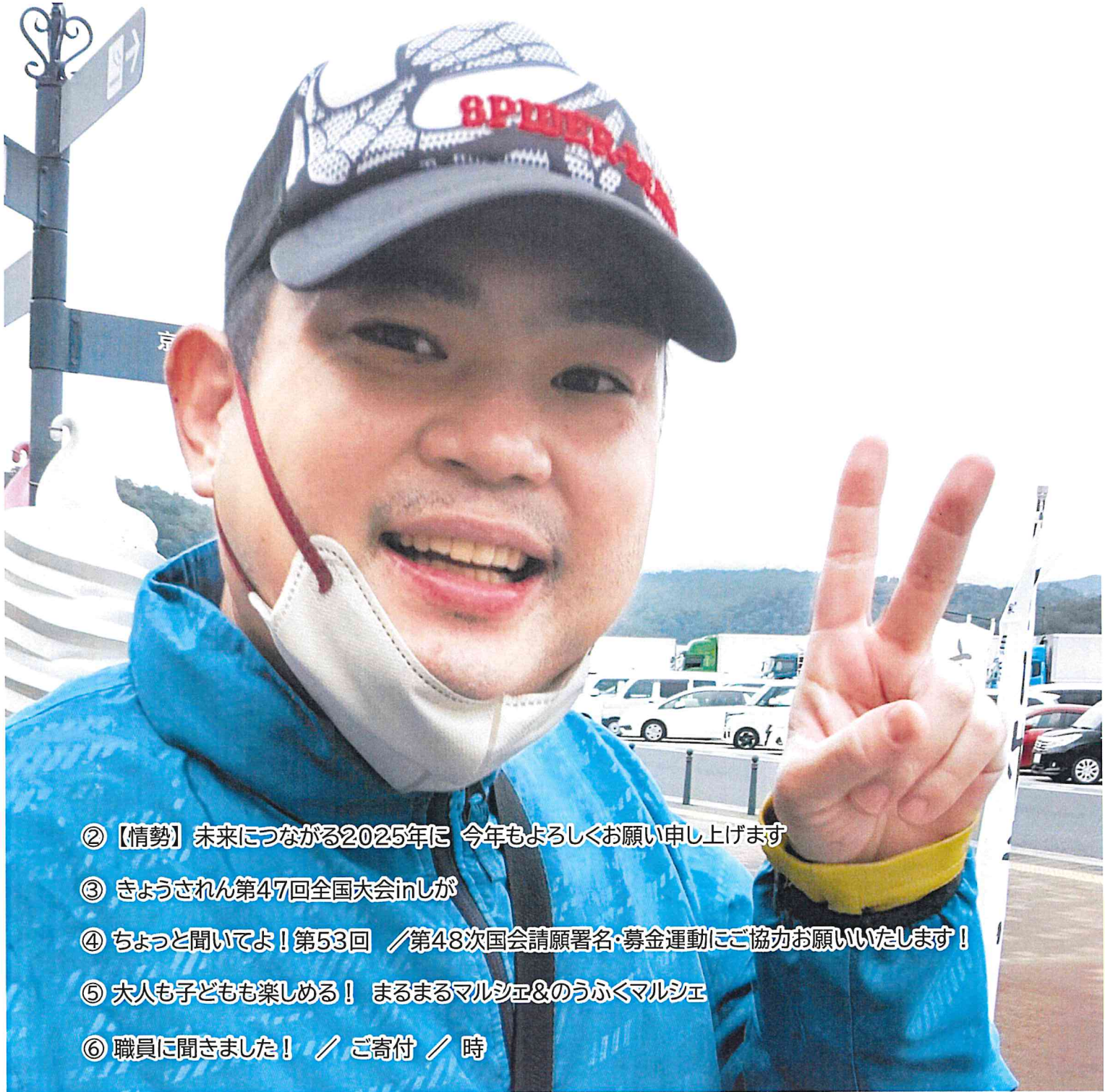
ひまわり



2025

2025年1月15日発行(年4回発行)

No.250



- ② 【情勢】 未来につながる2025年に 今年もよろしくお願ひ申し上げます
- ③ きょうされん第47回全国大会inしが
- ④ ちょっと聞いてよ! 第53回 / 第48次国会請願署名・募金運動にご協力お願ひいたします!
- ⑤ 大人も子どもも楽しめる! まるまるマルシェ&のうふうマルシェ
- ⑥ 職員に聞きました! / ご寄付 / 時

●今月号の表紙写真:第二かめおか作業所(松田貴憲さん)
日帰り旅行での一コマ。雨が降ってきたけどソフトクリームでひと休憩。今年リニューアルオープンした神戸須磨シーワールドに行って、おいしいお肉を食べてきました。また旅行に行きたいな!!

未来につながる2025年に 今年もよろしくお願い申し上げます

社会福祉法人亀岡福祉会

理事長 西村 直

新年を健やかにお迎えになられたこと、謹んでお喜び申し上げます。今年も変わらぬご協力、ご支援をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

した年でした。また、世界的規模で平和がおびやかされ、命・人権がないがしろにされる事態が広がる1年でもありました。

生保護裁判判決を求める署名活動など、国内外の様々な動きと障害のある人たちの「願い」に応える課題と重ねて活動してきた1年でした。今年も続けていきたいと思えます。

つなげていきたいと思えます。

行政はじめ多くの関係団体の皆さまと開催し成功した「ハートフェスタ2024」、

利用者の仕事や地域行事の参加など日常の活動を通じて広がった「つながりの力」を糧に、2025年を「誰をも置いてきぼりにしない地域づくり」の未来につながる年にしていく決意です。今年もよろしくお願い申し上げます。

2024年の幕開けは

昨年の幕開けは、未曾有の被害となった1月1日の能登半島地震、9月にはかすかに動き出した復興の芽を押しつぶすかのように豪雨が襲いかかりました。自然災害が頻発した1年は、発災時の迅速な対応、平時の備えなど人的援助や救援体制など公的システムを早期に整える重要性を示

歴史的判断が示された1年

一方で、日本被団協(原水爆被害者団体連絡協議会)のノーベル平和賞の受賞、国に賠償命令を下した最高裁判所大法廷の旧優生保護法違憲判決など、被害当事者の切実な声が制度の改編や世論づくりにつながる歴史的判断が示された1年でした。

亀岡福祉会は、被災地作業所などの製品販売、公正な優

未来につながる

2025年に

「ぼくも節約せんならんな」「グループホームにいつまでおれるんやろ」物価高騰や高齢化など社会状況からくる利用者、家族の不安は尽きませんが、関係者の願い実現をめざして策定し、今年最終年を迎える「亀岡福祉会ビジョン2025」を次のビジョンに

